



【展示物名】 「縄文時代コーナー」、「弥生時代コーナー」(2F)

【該当する学年】 小3 小4 小5 小6 **中1** 中2 中3

【学習指導要領】

＜中学校1年＞歴史的分野

(2) 古代までの日本

ア 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりをなどを通して、世界の各地で文明が築かれ東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。

【写真】



【縄文時代コーナー】



【弥生時代コーナー】

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 「縄文時代コーナー」では、土器・動物の骨・骨針・石鏃（やじり）・貝輪など、縄文時代の土器、骨角器、石器、装飾品などを展示している。「弥生時代コーナー」では、甕（かめ）、高坏（たかつき）、壺、石包丁や石鎌、土製の紡錘車などを展示している。

☆ **中学校1年「日本列島の誕生と縄文文化」** 及び **「弥生文化と邪馬台国」** では、実際に発掘された土器や石器などの展示品によって、**縄文・弥生時代に宮崎市周辺で生きていた人々がどのような暮らしをしていたかを学ぶことができる。**

縄文時代は、貝塚出土の動物の骨や土器などの道具から、狩猟・漁労・採集を中心として生活していたことを理解することができる。また、**この頃の土器に縄目文様があることを確認でき、このことが縄文時代の名称の由来となったことを理解できる。**

弥生時代は、石包丁や鍬の木片から、稲作や農耕が発達したこと、また、土製の紡錘車から、織物が作られていたことを学習することができる。さらに、**実物の土器を見ながら**この頃の土器は、薄手で固く、形や種類が多くなる特徴をつかむことができる。

二つの時代の出土品を比較する ことによって、それぞれの時代の生活様式の変化や技術の発達を学習することができる。